

これからのウェブ構築に必須のツールを選び出そう

# CMS

コンテンツ管理システム

# 完全カタログ

コストに制約のある中、企業にとってウェブサイトの重要性は増している。このところ注目を集めている「コンテンツ管理システム(CMS)」は、サイト運営で発生しがちな問題を解決してサイト運営を効率化するだけでなく、ウェブサイトを企業戦略の有効な道具として活用する力を持っている。CMSを知り、目的に合ったCMSを導入するために必要な情報をここで得てほしい。

text : 増田真樹(p.61~p.65) + 篠原稔和(p.61~p.65) + 深田憲太郎(p.66~p.68、p.71、p.73~p.74)

大河原克彦(p.69) + 高橋俊亮(p.70) + 金沢克彦(p.76~p.79) + 編集部

## ウェブサイト運営で こんな問題発生していませんか？

下のチェックリスト項目の中から、あなたがウェブサイト管理しているうえで該当すると思うものをチェックしなさい。

- ☐ ①簡単な修正でも必ず毎回作業担当者に依頼して作業してもらっている。
- ☐ ②HTML作成担当者に負担が集中してボトルネックになっている。
- ☐ ③コンテンツの作成者がHTMLを書いているので効率が悪く、本来の業務に影響が出る  
ことがある。
- ☐ ④コンテンツが多く、手作業では効率が悪すぎる。
- ☐ ⑤リンクや新着情報、サイトマップなどを最新の状態に保つ作業が負担になっている。
- ☐ ⑥ページ作成の外注でコストがかさみ、データのやりとりが煩雑になっている。
- ☐ ⑦デザインのガイドラインを完全には遵守できていない。サイトデザインに一貫性がない。
- ☐ ⑧手作業でページを公開サーバーにアップロードし、深夜や休日作業も当たり前。
- ☐ ⑨コンテンツやファイルのバージョン管理が行われていない。
- ☐ ⑩他の担当者のファイルを上書きして書き換えてしまうことがある。
- ☐ ⑪コンテンツが誰によって作り出され、いつ追加されて削除されたかが管理されていない。
- ☐ ⑫コンテンツは公開してから事後承諾になっている。
- ☐ ⑬各コンテンツのウェブサイトへの公開までの承認フローと責任者が定まっていない。
- ☐ ⑭新しい要素や機能を追加したくても、開発や制作が間に合わずに実現できない場合がある。
- ☐ ⑮ウェブサイトは単なるウェブでの情報提供の手段の1つとしてしか利用できていない。
- ☐ ⑯その場その場の作業のため、各作業にかかる最長、平均、最短の時間を想定できない。

チェックが終わったら次ページへ→

※「コンテンツ管理システム」は印刷や文書管理などを目的に含む幅広い概念を持つが、この記事では、ウェブサイトの管理・運営を主な目的とするCMSを対象とする。

# Part 1

担当者の悩み解消が運用コストの低減につながる

## サイト運用の問題点を解決するCMS

- ・サイト運用で発生する問題点
- ・CMSの持つ機能とその効果
- ・CMS導入の正しい手順

### 泥沼ウェブサイト運用からの脱却

チェックの結果はどうだっただろうか。チェックシートで該当する項目が多ければ多いほど、あなたの組織のウェブサイトの運用に問題があることを示す。ウェブサイト運用の業務は経験のある企業でも10年の歴史もなく、多くの組織ではシステム化されていない家内制手工業的な、または努力と力業で進める労働集約型の構造である。それに対して、企業のウェブサイト追加されるコンテンツは年々増え続けており、結果として前ページに示したような問題が生じてきているのだ。

もし該当する項目があるのに「ウェブページだからHTMLを書くのは当然」「細かいことをちゃんとするのが仕事だ」「とりあえず何とかなるからいいか」などと考えているようなら、改めてウェブサイトの運用について考え直してほしい。あなたの日々は、泥沼のような効率の悪い作業を繰り返すだけになっていないだろうか。

CMS(コンテンツ管理システム)は、こういった問題を解決してサイトの構築・運用

を効率化することで、ウェブサイトの本来の目的である「迅速で正確な情報提供」「企業の顔としての機能」「顧客とのつながりの場」を実現する力を持っている。

ホームページ作成ソフトとは異なるツールであるCMSの特徴や機能を示しながら、それらが前ページで示したどの問題に効果があるかを見てみよう。

### サイトの運用を助けるCMSの機能

#### サーバーでコンテンツを一元管理

CMSはサーバーで動作するソフトウェアだ。ウェブブラウザがあればどこからでもアクセスできるので、各運用スタッフのPCに特別なソフトをインストールする必要はない(図1)。また、ウェブサイトのコンテンツをCMSサーバーが一元的に管理するのも特徴だ。複数のスタッフでの運用時にありがちな、同じファイルを違うスタッフが同時に修正してしまうといったトラブルが発生しない仕組みになっている。

改善できる問題点 ▶ 6 9 10 11

#### 技術に明るくない人でも簡単に使える

サーバーで動作するソフトと言っても、ウェブサーバーやメールサーバーの管理で必要とされるような難しい操作は必要ない。CMSはおもに技術に詳しくない人が使うためのソフトなので、ブラウザを使ったわかりやすいインターフェイスでウェブサイトを管理できるように作られている。ほとんどのCMSはグループウェアとワープロが組み合わさったような使い勝手でだれにでも簡単に使える。

改善できる問題点 ▶ 1 2 3 6

#### ユーザーを管理できる

ブラウザでアクセスすると言っても、公開ウェブサイトのようにだれでもアクセスできるわけではない。ほとんどのCMSは、IDとパスワードによるユーザー管理の機能を備えている。ユーザーに「ページ作成担当」「デザイン担当」「内容の責任者」などの担当内容を割り当てて、ユーザーごとにアクセス権限を設定できるCMSも多い。

改善できる問題点 ▶ 6 11

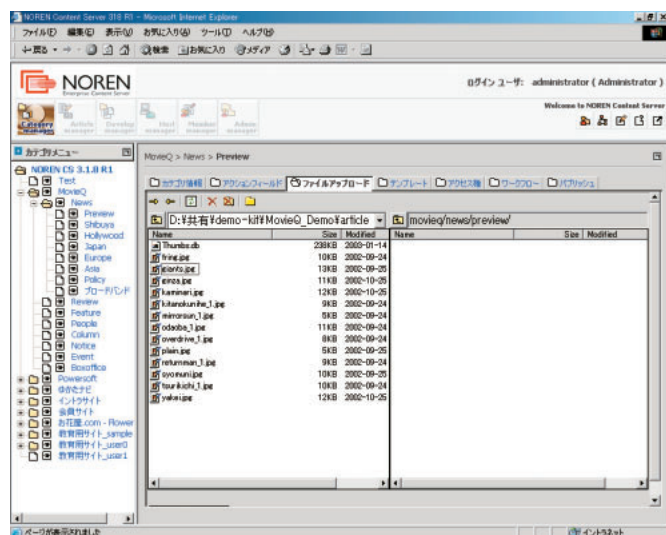


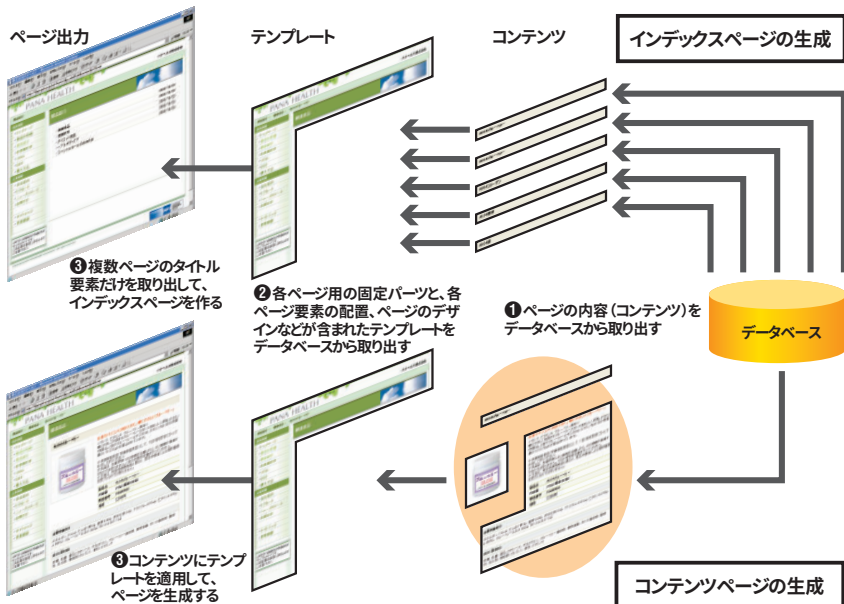
図1 CMSではウェブブラウザさえあればアクセスできる。ブラウザとは思えないほど高性能なものもある(図はNOREN Enterprise Content Server)。



図2 HTMLを知らなくてもコンテンツを作成できる。入力時に文字数を制限できるCMSもある(図はPortalManager)。



図3 コンテンツとテンプレートからのページ生成



## デザインをあらかじめ設定

ばらばらなページが散在するウェブサイトを作りたいのであれば、サイトの構造を決めて「ニュース」「投資家向け情報」「製品紹介」「会社情報」のような構造を持たせるだろう。CMSでは、ページ自体を作る前に、ページのパターンを定義する「テンプレート」を作る。

テンプレートは、「ヘッダー」「メニュー」「バナー」「フッター」などのページ構成要素と、ページごとに違う可変の内容を分けて考えて、可変の内容以外の部分をあらかじめ定義しておくものだ。デザイナーはサイト統一のメニューやナビゲーションなどのパーツを作り、各パーツやコンテンツをどのように配置するかをデザインする。そして各パーツやページ全体をどのような背景、色、文字の大きさで表示するかをデザインして、それらをテンプレートとしてページ構成ごとに保存しておく。

このテンプレートは、ワープロで使う「FAX送付状」のテンプレートのように、後でコンテンツを流し込むレイアウト情報の枠組みとして使うためのものだ。つまり、同じ体裁のページはテンプレートを1つ作っておけば内容の違う部分だけを個別に作ればいいのだ。これにより、デザイナーはテキストの流し込み作業をする必要はなくなり、完成度の高い「よりよい」ページデザインを追求できるようになる。

改善できる問題点 ▶ ① ② ③ ⑥ ⑦

## HTMLを知らなくてもコンテンツ作成

コンテンツ作成者は、ウェブブラウザでCMSにアクセスして、サイト全体の構造に従って作りたいページを指定する。すると、そのページに設定されたテンプレート

に従って「タイトル」や「本文」などを入力する画面が表示されるので、本当に必要な「コンテンツ」だけを入力する（図2）。入力したコンテンツはデータベースに格納される。多くのCMSでは画像やFlashなども、データベースに格納して再利用できる。

コンテンツ作成者はHTMLのタグやデザインを考える必要がないため、「よりよいコンテンツを作成する」ことに集中できる。

改善できる問題点 ▶ ① ② ③ ⑥ ⑮

## デザインされたページを自動生成

テンプレートとコンテンツが揃ったら、CMSはテンプレートにコンテンツを流し込んでページを生成する作業を自動的に処理してくれる（図3）。テンプレートを変更すればコンテンツを作り直さなくてもそのテンプレートを使ったすべてのページのデザインを変更できるため、サイト全体のデザイン変更も簡単にできる。

改善できる問題点 ▶ ① ② ③ ④ ⑥ ⑦

## 公開承認ワークフローも自動処理

ページの作成が簡単だからと言って、作った端からページを公開するわけにはいかないだろう。CMSを使えば、ページを作成した後に、責任者が承認しないとウェブに公開できないようにワークフローを設定できる。承認担当者がCMSにログインすると

承認すべきページが提示されて、ブラウザでページを確認しながら承認できる。

こういったワークフローをあらかじめ定義しておいて一連の流れを自動的に適用できることが、CMSが組織でのウェブサイトの運用に適している理由の1つだ。

改善できる問題点 ▶ ⑫ ⑬

## ナビゲーションも自動作成

サイト内でのページの位置を示すパンくずリストやサイトマップなどのナビゲーションや最新情報の一覧などは、訪れるユーザーにとって使いやすいサイトにするために必須だと言える。しかし、新しいページが作られるたびに正しいナビゲーションを設定して、親ページにも最新情報ページにもサイトマップにもページの情報を追加して整合性を保つのは大変な作業だ。最新情報が「少し前の最新情報」になってしまっているサイトも多い。人間が手間と時間をかけてもミスが発生しがちなこれらの要素も、CMSを使えば、テンプレートに設定しておくだけで自動的に最新の正確なものに保ってくれる。

改善できる問題点 ▶ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑭

## アクセシビリティ対応

現在JISの制定が進んでいるアクセシビリティ（高齢者や障害者が使いやすいウェブサイトにするための基準）への対応なども、テンプレートに設定しておけば各ページに自動的に適用される。

TOP ▶ 製品情報 ▶ 一般向け製品

図4 ページごとに手作業でナビゲーション要素を作るのは手間がかり、さらにミスが発生しやすい。

## 期限指定のページ公開も自動処理

通常はページが承認されると即座にウェブサイト上で公開されるが、あらかじめ作っていた製品ページを新製品の発売日に合わせて公開したいこともあるだろう。多くのCMSでは、登録されたページを指定した日時になったら自動的に公開したり、指定した日以降は特定のページを表示しないようにするなどの処理を自動で行える。担当者がページ公開時間に合わせてアップロードの処理をしたり、ページ公開のために休日出勤したりする必要はなく、公開し忘れなどのミスも発生しない。

改善できる問題点 ▶ 8 11

## リンク切れのないサイトを実現

ページの追加や入れ替えのときやサイト構成を変える際にリンクの整合性を保つ作業が負担になっていないだろうか。

CMSでは、管理しているページへのリンクを作る場合には、一覧からリンク先のペ

ージを選んで作業できるものが多い。こうして作られたリンクは、リンク先のページが移動した場合にも自動的に正しいリンク先に変更してくれる。ページを削除するときにはそのページにリンクを張っているページが残っていることを警告してくれる機能もある。CMSを使うと、リンク切れのないサイトをほぼ自動で実現できるのだ。サイト外のページへのリンクを自動的にチェックする機能を持ったCMSも多い。

改善できる問題点 ▶ 1 2 3 4 5 6

## 作業履歴を管理

コンテンツの追加・変更・削除時には、だれがいつその作業をしたのかの情報とコンテンツの変更履歴が保存されるCMSも多い。何かトラブルがあったときにはすぐに以前のバージョンに戻せるうえに、記録を調べればトラブルの原因説明もしやすい。

改善できる問題点 ▶ 6 9 11

## CMSが変革するウェブサイト運用

ここまでで説明してきたものの以外にも、CMSにはさまざまな機能がある(表1)。これらの機能により、CMSはウェブサイトの運用に次のような変革をもたらすことができる。

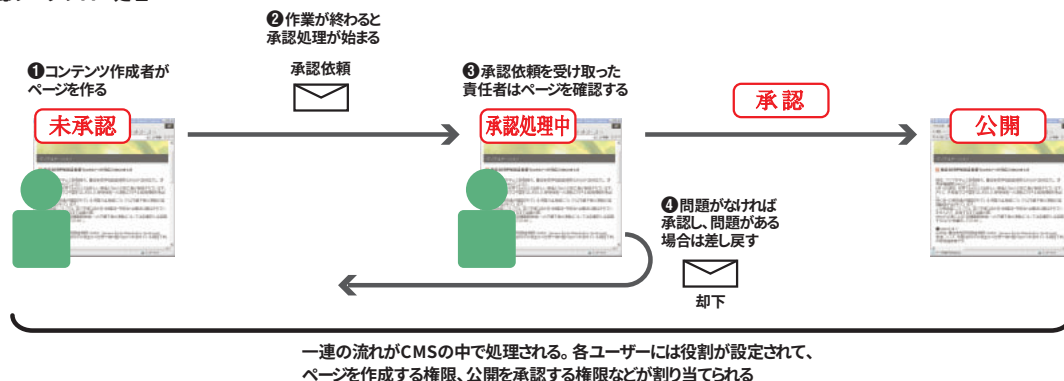
**単純化** CMSを使えば、HTMLを知らない人や技術に明るくない人でも情報を発信できるため、提供したい情報に一番詳しい人が自分で直接コンテンツを発信できるようになる。これにより、運用スタッフの負担が軽減され、外注費用を削減できだけでなく、ページ公開のための無駄なオーバーヘッドがなくなり、ウェブサイトでの情報提供を迅速に行えるようになる。

**効率化** 機械的に処理できる面倒な作業はCMSに任せられるので、力業で行う手作業はほとんどしなくてよくなり、ミスが減る。「やむを得ず」していた作業をしなくてよくなるため、運営スタッフは無駄な作業から解放されて、よりよいサイト作りという本来の業務に集中できる。

**ルール適用** 公開ワークフローなどの運営ガイドラインやデザインガイドラインのようなルールをシステムで強制したり自動化したりすることで、スタッフの負担が減る。おのずと人的エラーが減り、サイトを統一感のあるブランド化された状態に保てる。

図5 指定した日時にページを公開したり公開終了したりはCMSを使えば簡単に実現できる(図はMicrosoft Content Server 2002)

図6 公開承認ワークフロー処理



**戦略的展開** ウェブサイトを「とりあえず情報を出しておく」場所から、効率的に情報を提供して、さらに顧客とのインタラクションを通じて企業の戦略に役立てる場所として活用できる。アンケートの実施やRSS（サイト要約情報のXMLデータ）の提供など、プログラミングが必要でコストや時間がかかるためにできなかったこともCMSの機能を使えば簡単に実現できる。

また、今回の特集では大きくは扱っていないが、ブログやポータルに特化したCMSもある。オープンソースで利用できるものもあり、サイトの一部分にはこれらのツールを使うのが適切な場合もあるだろう。

また、もっと大きな概念のCMSとしては、企業内に存在する文書や画像、マルチメディア素材、印刷物、ウェブサイトなどを総合的に管理する「エンタープライズコンテンツ管理システム(ECMS)」と呼ばれるものもある。ECMSは企業活動全体にかかわるものなので「まずウェブサイトの一部に導入」というように簡単には導入はできないが、より進んだ情報戦略を考えている場合は検討してみるのもいいだろう。

## CMSの導入すべきこと

とは言え、CMSはまだパッケージを買ってきてインストールすればすぐに使えるものではない。組織で行っているウェブサイトの運用にCMSを導入するには、現状に関する必要な情報を整理して、CMSを導入する目的をはっきりさせようといういくつかの手順を経るべきである。ここでは詳しくは説明できないが、CMSを導入する場合に従うべき手順の概要を表2に示した。規模によって必要な手順は変わるが、表2の手順には、実際にCMSを導入して得られたノウハウが詰まっているので、参考にしてほしい。

次のページからは、CMSの導入で陥りがちな落とし穴を示している。こちらも導入時には是非注意してほしい。

■表1 CMSの機能分類と製品の選択時に必要な情報

|                   |                         |                                                                                                                                                                           |
|-------------------|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 対象規模／種類           |                         | 中小規模(数十ページ～数千ページ程度のウェブサイトの構築を主な目的とするもの)、大規模(1万ページ以上のウェブサイトの構築に対応するもの)、エンタープライズ(大規模なウェブサイトの構築に加えて企業の他のシステムと連携できるもの)、ASPサービス(サーバーの運営は業者が行い、ユーザー企業はCMSの機能をインターネット経由で利用できるもの) |
| 価格／ライセンス形態        |                         | 導入価格やライセンス形態                                                                                                                                                              |
| オプション機能／価格帯       |                         | オプションのモジュールにどのようなものがあるかの機能列記とその価格                                                                                                                                         |
| 典型導入パターン          |                         | そのツールが一番効果的に使われる、または一番よく使われる導入パターン                                                                                                                                        |
| 典型導入価格例           |                         | 典型的な導入パターンでどれぐらいの価格になるのかの目安                                                                                                                                               |
| 対応OS／RDBMS／ミドルウェア |                         | 対応OS、データベースシステム、エンジンのミドルウェア                                                                                                                                               |
| 管理者・運用者向けの機能      | 公開承認                    | 許可されるまでコンテンツが公開できない仕組み。承認は何段階にも設定される場合もある                                                                                                                                 |
|                   | 作業役割／権限分担               | 複数のスタッフに権限と作業を割り当てる機能。作業の流れが自動的に指示されるように指定できる場合もある                                                                                                                        |
|                   | 時間指定発行／時限発行             | 特定のコンテンツを指定日時になったら自動的に公開したり、指定日時以降見られなくしたりする機能                                                                                                                            |
|                   | 世代管理                    | 変更履歴を世代で管理して、過去のコンテンツへ戻せる機能                                                                                                                                               |
|                   | ステージ管理／ロールフォワード         | 将来の更新を先に作成しておいて、将来どんなページが表示されるのかを事前にチェックする機能                                                                                                                              |
| ウェブサイトで実現する機能     | サイト階層構造管理               | ページ単位ではなくサイトの階層構造まで管理できる機能                                                                                                                                                |
|                   | リンク切れチェック               | サイト内に記述されたHTMLのリンク先がなくなっていないかをチェックする機能                                                                                                                                    |
|                   | 別システムのユーザー認証利用          | 外部のLDAPなどを利用して既存のユーザー管理システムの認証を利用する機能                                                                                                                                     |
|                   | デザインテンプレート管理            | ページの構造や表示スタイルを定義しておく機能。モジュール形式で再利用が可能な場合もある                                                                                                                               |
|                   | ログ解析                    | ウェブサイトへのアクセスログを解析して表示することでサイトに来る人の動き方などを分析する機能。アクセスログ出力のみ対応の場合は「ログ解析」の機能は備えていないとみなす                                                                                       |
|                   | WYSIWYGエディター搭載          | CMSに内蔵されているエディターでビジュアルにHTMLを編集する機能                                                                                                                                        |
|                   | XMLデータ処理                | XMLデータの入出力対応機能                                                                                                                                                            |
|                   | 利用ユーザー登録                | 登録制のサイト利用者認証／管理の機能                                                                                                                                                        |
|                   | サイト内検索                  | ウェブサイト内のコンテンツを検索する機能                                                                                                                                                      |
|                   | 業務システムとの連携              | 企業内の業務システムと連携したサービスを実現する機能                                                                                                                                                |
|                   | 静的ファイルページ対応             | ページを毎回動的に生成するのではなく、静的なファイルとしてあらかじめ出力しておく機能                                                                                                                                |
|                   | ケータイ対応                  | 同一コンテンツからの携帯電話向けサイトなどを作る機能                                                                                                                                                |
|                   | アクセシビリティ基準対応            | サイトを障害者や高齢者に配慮した作りにする機能やボイスブラウザー対応などの機能                                                                                                                                   |
|                   | 新着情報／サイトマップ／ナビゲーション自動作成 | コンテンツからサイトのガイド／ナビゲーション要素を自動生成する機能                                                                                                                                         |
|                   | コミュニケーション               | 掲示板                                                                                                                                                                       |
|                   |                         | アンケート                                                                                                                                                                     |

■表2 理想的なCMS導入ステップ

1. 各種調査(ウェブ、書籍、雑誌記事、イベント、レポート)の実施
2. 各種ベンダーや中立的なコンサルタントとの協議
  - 2-1. ソリューション内容の把握
  - 2-2. 企業内セミナーによる知識の整理
  - 2-3. コンサルタントによるアドバイス(継続的なアドバイス)を活用した要求のとりまとめ
3. 要求仕様書の作成
4. 実装ステップ
  - 4-1. コンテンツの組織化(カテゴライズ、ラベリング、ナビゲーション、検索、メタデータ)
  - 4-2. システムの検証
  - 4-3. 要求分析、仕様文書、RFP
  - 4-4. 移行実施プロジェクトのスタート
  - 4-5. プロトタイプサイトからの実装
  - 4-6. タイムテーブルとマイルストーンに従った進行
  - 4-7. カットオーバー
  - 4-8. ガイドラインのとりまとめ
5. ガイドラインに従った継続的なメンテナンス



# Part 2

予想外のトラブルを避けてスムーズに導入するには

導入前に注意!

## CMSの落とし穴6箇条

- ・CMS導入前に検討すべき要素
- ・忘れると導入後に困ること
- ・CMS導入プロジェクト成功の秘訣

1

### 導入の目的を定めずにCMSを導入することなかれ

CMSに関してコンサルティングをしてほしいとの依頼を受けて私が参加したあるプロジェクトは、その時点ですでに全体の7割ほどが終わっていた。ところが、採用していた製品の機能がプロジェクトの目的が違ふことがその時になってわかり、何とかならないかということだったのだ。

このプロジェクトの場合、初期の製品選定の段階に大きな間違いがあったのだ。動的にページを生成したいはずが、HTMLソースコード管理型のCMSを導入してしまったのが一番の問題だった。要件をはっきりと定めずに、製品選定の基準を

価格に設定していたことが原因だった。

また違うプロジェクトでは、CMSの説明に行った先で、2時間かけて説明した後で、「ホームページ作成ツールじゃないのですか?」と聞かれたことがあった。

確かにCMS製品の機能は明確ではないものが多い。「コンテンツ管理システム」がどういふものを指すのかは、だれもはっきりと定義せずに今まで来てしまったのが現状だ。CMS製品といってもいろいろなものがあり、また他の製品がCMS的な機能を持つ場合もある。CMS製品を選ぶ場合、価格は重要な要素なのは間違いない。しか

し、最も重要なのは、目的に合っているかどうかであり、いくら安くても目的に合っていない製品は選ぶべきではない。どんなサイトを作るのか、既存のサイトのコンテンツはどうするのか、運用はどのようにしたいのかなど、要件を洗い出さずにCMS製品を選ぶと「こんなはずでは」となってしまう。



なぜCMSを入れるかをはっきりさせ、サイトの性質と目的に合った製品を選ぶべし

2

### サイト更新の現場を知らずしてCMS導入を主導することなかれ

CMSの導入はシステム全体を統括している部署が行うことが多いが、大企業ではシステムを統括している部署の人間は必ずしもサイトの更新作業に参加していないケースが多い。技術的にCMS導入に関してのノウハウはあるものの、サイトの更新プロセスに関する認識度が低いというのも非常によくある落とし穴の1つである。

企業全体のマーケティングを統括している人間がリーダーになったケースでは、CMSの導入に関するミーティングで「システムのことはよくわかりませんが、このシステムを使うのと外注して作ってもらうのではどちらが安いですか?」と質問されたことがある。コストのメリットはもちろん検討するべきだが、システムを理解しようとしなければ、CMS導入がもたらすさまざまなメリットを理解できるはずがない。

成功するCMS導入プロジェクトのリーダーとして理想的なのは、日々のサイト更新を

行っている部署を助けている、技術に詳しい人だろう。

また、CMS導入プロジェクトチームとしてサイト更新の担当部署、システム全体を統括している部署、経営企画の部署の人間などを集めた「CMS導入特殊部隊」を作り、非常にうまくいったケースもある。この部隊はCMSを導入して成功させることをミッションとして、導入までは他の業務から完全に隔離されていた。実際にはここまで隔離することは難しいだろうが、少なくともチームリーダーはCMS導入に専念すべきであり、そこにCMS導入に関するすべての情報が蓄積されるようにするだけでも、多くのリスクが回避できるはずだ。

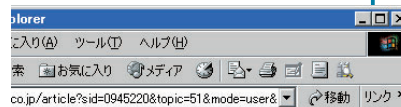


CMS導入プロジェクトのリーダーはウェブサイトとCMSのことを理解して、導入に専念すべし

#### 動的ページか静的ページか

CMSによっては、毎回動的にページを生成するものと、あらかじめ静的なHTMLのファイルを生成しておいてウェブサーバーに配信するものがあり、どちらの方法にも対応できるものもある。

動的ページ生成では、ウェブサイトへのアクセスが増えるとCMSサーバーにも負荷がかかるが、ユーザーごとに違う内容のページを表示するなどの高度な処理ができる。静的ページ生成では、ウェブサイトへのアクセスによる負荷はウェブサーバーにしかかからず、また、サーチエンジンに対して最適化しやすいというメリットもある。



動的ページタイプは高機能だがURLがユーザーにわかりにくくなりがちだ

### 3 単純な「価格」だけでCMSを選ぶことなかれ

CMS製品を選ぶ際には「製品はいくら？」ではなく「ライセンスモデルは？」と聞くべきだ。デスクトップソフトのように買ってインストールすれば終わりというCMS製品は少ない。表に示すような各種のライセンスモデルの違いを理解する必要がある。

実際に、CMSを導入したらライセンスコストがそれまでの外注費用を大きく上回っ

てしまったケースもある。プロジェクト全体の予算を初期投資額を基準に設定したために予想外の追加ライセンスが必要になり、予算を大幅にオーバーしてしまったのだ。

また、製品価格はあくまでもCMSの製品価格でしかない点にも注意が必要だ。CMS製品を動かすのに必要なデータベースやアプリケーションサーバーのライセンス

が無視できない金額になる場合もあるため、なるべく既存のインフラで使えるものは使うようにすることも検討するべきだろう。

CMSを導入するならば、サイトの更新に関係する人の数を明確に把握して、必要ならば現在のシステムのCPUの数やネットワーク帯域の使用量を把握する必要がある。そのうえで、検討対象の製品のライセンスモデルや必要システムがプロジェクトの予算に合っているかどうかの現実的なコスト計算を総合的にする必要がある。

ベンダーに対して、オプションなどを含めた平均的なコストを聞くのも指標として価値がある(76ページからの製品データでは典型的な導入価格が示されているので参考にしてほしい)。

| ライセンス種別   | 価格の基準                | 初期コスト | 運用コスト            | 拡張コスト        | 注意点                                                                     |
|-----------|----------------------|-------|------------------|--------------|-------------------------------------------------------------------------|
| ユーザー数     | CMSを使うユーザー数          | 低     | 高くなる可能性がある       | 高くなる可能性がある   | ユーザー数としてカウントされるユーザーの定義に注意が必要。コンテンツ提供者全体なのか、特別なクライアントを使う場合だけか。           |
| CPUライセンス  | CMSを実装しているマシンのCPU数   | 高     | 低                | 低            | CPUライセンスに数えられるCPUに注意が必要。ウェブサーバーにプラグインを使うCMSでは、ウェブサーバーのCPUも数えられる可能性がある。  |
| サイトライセンス  | CMSで管理されるサイトの数       | 低     | 低                | サイトが増えなければ低い | キャンペーンなどで臨時のサイトを立ち上げたり、コンテンツごとに別サイトを作ったりするとCMSのライセンス費が発生することに注意する必要がある。 |
| サーバーライセンス | CMSが稼働している物理的なサーバーの数 | 中     | 中                | 高くなる可能性がある   | ネットワーク内でのCMS製品の位置と役割を明確にして、ネットワーク設計の段階からライセンス費用への影響を考慮する必要がある。          |
| テンプレート数   | CMS内でのテンプレートの数       | 中     | 中                | 高くなる可能性がある   | テンプレート化するコンテンツの把握が重要。ページ内に複数のテンプレートを使う場合、複数ライセンス必要かはベンダーによる。            |
| 帯域ライセンス   | CMS経由で配信されるコンテンツの総従量 | 中     | ピーク時には高くなる可能性がある | サイトの人気に依存    | サイトの現在のトラフィック動向を明確に把握する必要がある。また、今後のコンテンツ戦略によつての帯域の変動を予測する必要がある。         |

**!** ライセンスモデルを確認して、トータルでの導入・運用コストを必ず試算すべし

### 4 CMS導入を特定の部署だけで進めることなかれ

あるCMS導入プロジェクトに参加した際に、プロジェクトがほぼ完了というタイミングで、それまでまったくコンタクトがなかった部署の人の意見により、それまで進んでいたCMS実装が完全に停止した例があった。もともとのCMS導入をリードしていたのはシステムを統括していた部署だった。実装後に実際にCMSを使う部署に対して、CMSの導入を進めていることを連絡せずにプロジェクトが動いていたのだ。ほぼ完成されたCMSに対して、それまでのサイト更新作業とあまりにも違うので使用できないとのクレームがサイトの運用部署から発

生し、CMS導入プロジェクトはお蔵入りになった。

もちろん、このような例は極端だが、これと似たケースは意外に多い。CMSを設計する際には、日々CMSを使って更新作業を行うユーザーからのインプットは非常に重要であり、検討段階から参加してもらうことによって、CMSを使うユーザー部署もCMS導入後の準備を前もって行えるようにすることで、CMSの導入がスムーズにいく。ただしここで気をつけなければいけないのが、ユーザーからのインプットは日々変わることが多いことだ。ユーザーのインプット

はあくまでも参考として、要件と仕様を決めて、重要度をつけながら導入プランを立てるようにする必要がある。このポイントを明確に持たないと、えんえんと要件と仕様の策定を続けることになり、いつまでたってもCMSを導入できない危険性がある。

**!** CMS導入は組織全体として取り組み、影響が出る部署には事前に連絡して調整すべし



## 5

## 既存のコンテンツの存在を忘れることなかれ

実際にCMSを導入してからつまずく落とし穴の1つに、既存のコンテンツの管理問題がある。通常、CMSを導入するには新規コンテンツのことを考えがちだが、実はすでにあるコンテンツのその後の管理に関してはまったく考慮されていないケースが多い。

ある大手のコンテンツ提供会社のCMS導入で、すでにあるコンテンツをどのようにCMSに格納するかで非常に悩んだケースがあった。それまでのコンテンツは担当者がそのたびに手作業で作っていたため、ページごとにHTMLのソースコードの作りが違っていた。一定のパターンで作られたページ群ならば自動コンテンツ収集ツールを使って自動的にCMSのデータベースに収

納できるが、バラバラに作られたページでは不可能に近い。

対応策として挙げられたアイデアには、たとえばCMSのトレーニングと称してサイト運用部署に古いコンテンツをCMSに入力させる案や、極端なものでは中国の開発会社に頼んで安くコンテンツを投入してもらうなどの案があったし。しかし結局、古いコンテンツはそのままの状態にしておいて、CMS導入後に追加された新規コンテンツのみをCMSで管理することになった。このため、CMS経由で追加されたコンテンツとCMSの管理下でない既存コンテンツの共存問題が発生した。

既存のコンテンツが何らかのデータベースもしくは生のデータ(HTMLコードなどが

含まれていない状態)、もしくはXMLベースのデータである場合には、既存コンテンツの新規CMSへの移行はスムーズにいく。そうでない場合は、CMSがHTMLページを個別に取り込む機能を持っていたとしても管理が煩雑になるなどの問題が発生するのはやむを得ないだろう。



**CMS導入に関しては既存のコンテンツをどのように処理するかを事前に考慮すべし**

## 6

## 経験を積む前から大規模な導入を試みることなかれ

CMS導入は組織全体のプロジェクトとして考えるべきだが、管理対象となるウェブサイトが大きければ大きいほどCMSの適切な導入は難しくなる。また、関係する部署や人間の数が増えれば増えるほど要件や仕様も多くなり、実装にかかるコストと労力は非常に大きくなる。

実際に筆者が参加してきたCMS導入プロジェクトで、成功したものと失敗したものでは確実に違う点が1つある。

失敗したプロジェクトでは、CMSで実現しようとするのが多すぎて実装に時間がかかり、導入できるようになった段階ですでにサイトの性質が変わっており、せっかく作ったCMSが使えない状態になってしまっていたケースが多い。

成功したプロジェクトでは、いきなり大規模なプロジェクトとして導入しようとするのではなく、まずは大きなサイトの一部分に対してCMSを導入して、そこで得られた経験値をうまく使いながら徐々に拡張・成長していったケースが多い。

この場合に注意すべきなのは、全体を横軸で見て「第二階層までCMSを導入」とい

うように考えるのではなく、縦軸に見て「ニュースのセクションにCMSを導入」のようにするほうが賢明だということだ。縦軸での実装をすることによって、コンテンツの入力から出力までを1つの流れとして把握でき、設計時の要件と仕様が非常に明確にでき、また結果も評価しやすい。

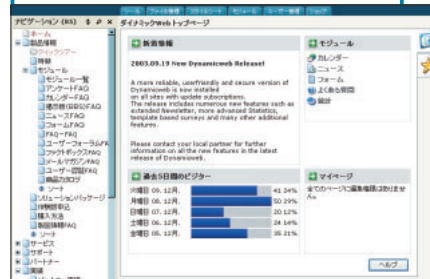
このように小さく生んでおけば、実装と運用段階で出てくる仕様変更や要件変更などにも比較的对応がしやすい。また、日々CMS経由でウェブサイトを更新することによってCMSとしての成熟度が増す。このような小さな成功をたくさん作ることが、大規模なCMS導入を成功させる秘訣と言えるだろう。



**CMSはサイトの一部に導入するところから始めて、小さく生んで大きく育てるべし**

### ASPかインストールか

最近増えているASPサービス型のCMSは、機能的にはインストール型のものと遜色ないものが多い。CMS機能はASPで利用して、ウェブサーバーに静的ファイルを配信するものもある。ASPサービスの提供が打ち切られるとCMSを利用できなくなる可能性はあるものの、インストール型に比べて初期投資を安く抑えられ、サーバーの管理コストが必要ないというメリットがある。社内ネットワークを利用できない社外スタッフがサイトの運用に参加している場合にもASPサービスは有効だ。



ASPサービスとインストール型の両方を提供している場合も多い

## Part 3

製品導入を決めるために必要な情報を網羅

## CMS製品完全カタログ 2004年春

.NETフレームワークの生産性で短期間構築

## Microsoft Content Management Server 2002

マイクロソフトコンテンツマネジメントサーバー

マイクロソフト株式会社

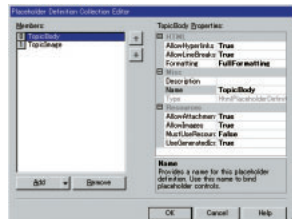
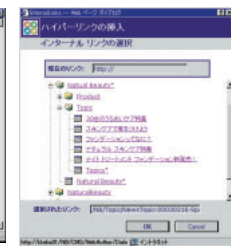
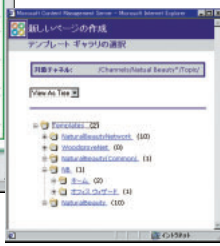
機能や価格などのデータ→76ページ



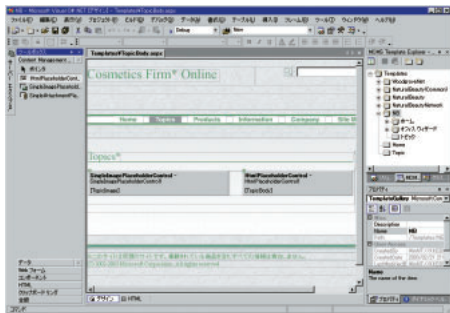
Authoring Connectorという機能をWordでインストールすると、ウェブページをWordで直接作成・編集できる。ウィザードに従ってWordからCMSにページを送信すれば、ウェブのテンプレートに従った形でWordのデータがページになる。



認証を受けたユーザーならば編集・管理のメニューがウェブサイトに直接表示される。CMSの管理画面ではなく出力されるサイトのイメージのまま更新作業が行える。ページ作成時に使用するテンプレートもギャラリーから選べる(下左図)。サイト内のリンクは一覧から選んで挿入でき、リンク先のページが移動しても自動的にリンクが更新される(下右図)。



Visual Studio .NETでのテンプレート作成では、フォームエディターのように記事入力などのコンポーネントをドラッグ&ドロップしてプロパティを設定するだけだ。ウェブCMSもRAD(迅速なアプリケーション開発)ツール時代に入った。



「電子メールを書いて送るのを外注したり技術部に頼んだりしますか? 同じように、ウェブコンテンツも自分で書いて配信してほしい。それを直観的な操作で具現できるツール」とマイクロソフトが言うように、やりたいことをそのまま実現できる操作性の高さが最大のウリだ。それは、昭島市が保健福祉総合ポータルサイト「福祉のひろば」をわずか1人月の開発でオープンしたことで証明済み。自治体、官公庁、大手企業でも同様の実績が出ているという。

これを実現するのは、.NETテクノロジーに支えられた柔軟かつ強固なプラットフォームの存在だ。他社製品にありがちなCMSツール独自の記述言語を不要とし、経験者の多いVisualStudio .NETによる開発を実現。既存のコンテンツ資産との融合や、マルチデバイスとのデータ連携といった点でも使い易さを発揮している。

また、サイトの統一感や表現方法に一定基準を持たせるレギュレーション管理を可能とし、さらに、実際に表示される画面のイメージを確認しながら、修正や変更ができる点は秀逸。任意の日時を指定することで改訂履歴の再現表示は可能だが、すでに作成済みの将来掲載予定の画面を表示できないのが唯一の欠点か。

これまで英語版および大手企業などを対象にしたエンタープライズ版だけの出荷だったが、2004年1月には、いよいよ日本語版を出荷。加えて、使用ユーザー数を15ユーザーに限定したスタンダード版も新たに投入する。ライセンス価格で100万円前後からという同製品の投入によって、中小規模事業所における活用も可能になるほか、パートナー各社から、ソリューションパックのような形でのセット製品の投入も期待される。また、1月には、マイクロソフトのサイトからダウンロード可能な機能コンポーネントの「パーツ」を増やす計画。より利便性が高まることになるのは間違いのない。



別畑の経験が生んだ使いやすいインターフェイス

# DBPS

(データベースパブリッシングシステム)

パナソニックデジタルネットワークサーブ株式会社

機能や価格などのデータ→77ページ



【情報】タブでは公開期間などの属性情報を確認・修正できる



【編集】タブではページの内容をテンプレートに従って編集できる

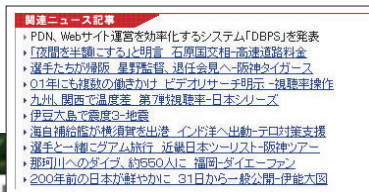


ページ内容の承認もプレビューで確認しながら統一したインターフェイスで処理できる

DBPSの基本となるプレビュー画面。右側のタブをクリックしてページのメタ情報や専用のページ編集画面に切り替えられる。画面上部にサイト構成が示されて現在表示している位置も一目瞭然で、ページの階層間移動もボタン1つでできる練り込まれたインターフェイスだ。



承認済みのページがアップロードされた将来のサイトの様子を、時系列で確認できるタイムスライズプレビュー。前もって確認しておきたい現場の作業者の気持ちをよく汲み取った機能だ。



同じ階層にある別のページを関連情報として、自動的にリンクを生成してくれる。

特定の属性の付いたページをイベントカレンダーとして一覧できる。販促キャンペーンなどの期間限定のイベント情報ページを作ればこういったページにも自動的に反映されるため、更新のし忘れなどのミスがなくなる。

DBPSは、行政情報提供サービスや電子行政相談サービスなどに対応したパッケージで、自治体のウェブサイト構築に実績を残し、電子政府に向かって進むe-Japan構想に少なからず寄与している。

しかしDBPSは、自治体だけでなく、大学・専門学校や一般の企業でも幅広く対応している。その真価は、直観的でわかりやすい優れたユーザーインターフェイスにある。機能別に画面にうまく配置されたボタン類や、ページの階層間移動をボタン1つでできる操作感は、実際に運用する人にとって「使いやすい」ことを第一に考えられている。

CMSに求められる基本的な機能はもちろん、将来の状態をプレビューする機能やサイトマップの自動生成機能など、運用の現場のための機能が搭載されたDBPSを解説しながらチーフアーキテクトの中村氏は言う。

「ごてごてと取って付けただけの多機能を誇っても仕方がない。すべての機能が使いやすい、運用時に効果が実感できる。それで初めてCMSの意味があるんです」

この優れたユーザビリティと運用時の成果を見据えた設計思想は、一朝一夕に築き上げられたものではない。実はパナソニックデジタルネットワークサーブは、放送業界ではデジタルコンテンツ制作会社として知られている。DBPSは放送素材管理のために開発したアセットマネジメントシステムを起源としている。制約の多いセットトップボックス用コンテンツの作成や、さらに前身のパナソニックワンダーテインメント時代のゲーム画面開発で培われた「使いやすい」ユーザーインターフェイスに対するこだわりと実力が組み合わさってDBPSの秀逸な使い勝手が生み出されたのである。ほとんどの導入企業では初期費用に含まれるトレーニングだけで運用に十分だというのも納得できる使いやすさだ。

簡易WYSIWYGによる文字スタイルの変更やMac OS X Server対応などさらなるアップデートも果たし、今後もCMS製品群の一角を担っていくことは間違いのない製品だ。



既存サイトに小さく組み込んで育てられるコンポーネント製品

## 4Less Internet

(フォーレスインターネット)

株式会社ネットドリーマーズ

機能や価格などのデータ→77ページ

「専門技術」「プログラミング」「コスト」「時間」の4つの要素を減らす効果を「4Less」で表しているネットドリーマーズの4Less Internetは、もともとnetkeiba.comのコンテンツプロバイダーとして始まった事業の中で培ってきた経験値とツールを製品化したCMS製品だ。

2003年2月から9月にかけて、正式に4Less Internetとして5個の製品をリリースしてきた。CMSだけでなく、アンケートやサポートの支援ツールまであり、総合的なサイト管理システムが作れるようになっている。製品が5つに分かれていることにより、1つの大きなCMSとして大規模に導入するのではなく、目的に応じて必要な製品だけを導入するところから始めて、少しずつCMSによる管理の範囲を広げられる効果がある。

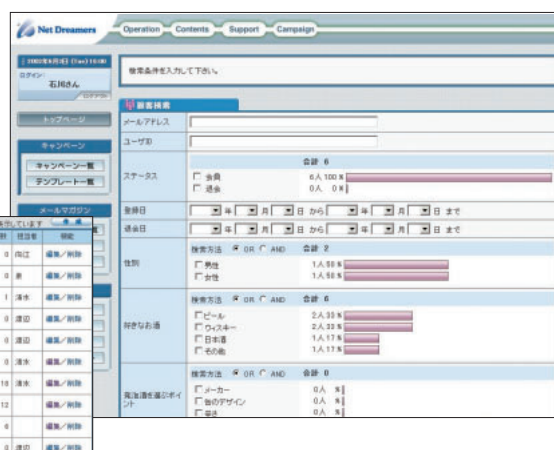
他のCMSツールと比べて特徴的なのは、サイトの運用に関する作業を管理するためのOperation Managerという製品だろう。ウェブサイト運営のために作られたグループウェアのようなスケジュールやプロジェクトの管理ツールで、日々発生するタスクを管理して、特定のスタッフに負担が集中していないかを確認できる。この機能はASPサービスとしても提供されている。

動的に生成されるコンテンツはContents Managerで管理して、静的なファイルに関してはFile Managerを使って管理する。静的なファイルとして大量の既存コンテンツが存在する場合にも、それらをFile Managerで管理することによって、システムに大幅な変更を加えることなくCMS機能の実装が可能になる。



Operation Managerはプロジェクト管理のツール。タスクの進行や割り振りをさまざまな軸で表示できる。

半数以上のユーザーが導入するというCampaign Managerは、アンケートを作成・実施して集計し、さらにメールを配信できるコンポーネントだ。



| No. | 名前     | 内容                      | 開始日 | 終了日 | 回数 | 状態  |
|-----|--------|-------------------------|-----|-----|----|-----|
| 1   | 新商品発表会 | 2003/05/28 ~ 2003/06/05 | 0   | 0   | 0  | 待機中 |
| 2   | 新商品発表会 | 2003/05/28 ~ 2003/06/05 | 0   | 0   | 0  | 待機中 |
| 3   | 新商品発表会 | 2003/05/28 ~ 2003/06/05 | 0   | 0   | 0  | 待機中 |
| 4   | 新商品発表会 | 2003/05/28 ~ 2003/06/05 | 0   | 0   | 0  | 待機中 |
| 5   | 新商品発表会 | 2003/05/28 ~ 2003/06/05 | 0   | 0   | 0  | 待機中 |
| 6   | 新商品発表会 | 2003/05/28 ~ 2003/06/05 | 0   | 0   | 0  | 待機中 |
| 7   | 新商品発表会 | 2003/05/28 ~ 2003/06/05 | 0   | 0   | 0  | 待機中 |
| 8   | 新商品発表会 | 2003/05/28 ~ 2003/06/05 | 0   | 0   | 0  | 待機中 |
| 9   | 新商品発表会 | 2003/05/28 ~ 2003/06/05 | 0   | 0   | 0  | 待機中 |
| 10  | 新商品発表会 | 2003/05/28 ~ 2003/06/05 | 0   | 0   | 0  | 待機中 |



Support Managerを使うと、サイトに設置したフォームを使った顧客サポートのシステムを構築できる。スタッフ用によくある質問とその回答のデータベースを作れるのでサポートの効率化が図れる。

| 項目     | 内容         | 更新日        |
|--------|------------|------------|
| お問い合わせ | お問い合わせフォーム | 2003-05-28 |
| お問い合わせ | お問い合わせフォーム | 2003-05-28 |
| お問い合わせ | お問い合わせフォーム | 2003-05-28 |
| お問い合わせ | お問い合わせフォーム | 2003-05-28 |
| お問い合わせ | お問い合わせフォーム | 2003-05-28 |
| お問い合わせ | お問い合わせフォーム | 2003-05-28 |
| お問い合わせ | お問い合わせフォーム | 2003-05-28 |
| お問い合わせ | お問い合わせフォーム | 2003-05-28 |
| お問い合わせ | お問い合わせフォーム | 2003-05-28 |
| お問い合わせ | お問い合わせフォーム | 2003-05-28 |

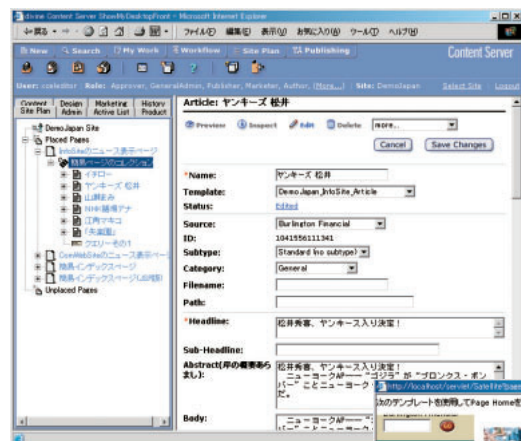
企業の情報資産を総合的に管理してウェブに活かす

# FatWire Content Server

(ファットワイヤー コンテントサーバー)

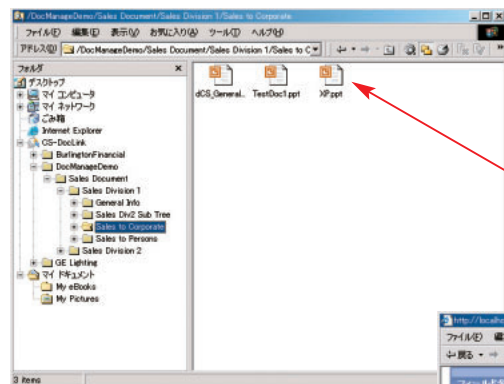
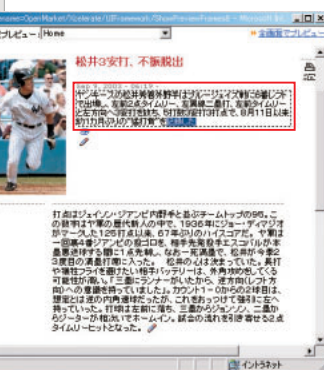
FatWire株式会社

機能や価格などのデータ→76ページ



ブラウザー上で、ページのイメージ  
そのまま文章を直接編集できる。

ウェブページもアセットの1つとして管理される。ページの内容を入力するフォームは、アセットを定義するとき自動的に作成される。ユーザーインターフェイスも充実している。



DocLinkの設定画面では、エクスプローラから受け入れるファイルに適用する属性や、ファイル受け入れの条件などを設定できる。

アドオンのDocLinkを使えば、ウィンドウズのエクスプローラからContent Serverにファイルをドラッグ&ドロップするだけでコンテンツとして登録して管理できる。



企業が情報を形にして外部に発信するのは何もウェブでだけではない。いまでも紙のカタログや説明書などの印刷物は非常に多く作られているはずだろうし、そうでなくてもワードなどのワープロソフトで作成されたドキュメントやパワーポイントなどのプレゼンテーションソフトで作成されたドキュメント、PDF、画像などのコンテンツが多数社内には存在しているはずだ。

FatWireのContent Serverは、こういった企業内に散在して活用されずに埋もれてしまいがちな情報をアセット(資産)として一元的に管理する「アセット管理」を実現できるツールである。

Content Serverのすごいところは、そのアセット管理機能を利用して、ウェブ用に作成したコンテンツを自動的に印刷物用のデータとして加工するDBPublisherというツールなどが存在することだ。また、ワードやパワーポイントなどのデータを管理するための機能はDocLinkというアドオン製品で実現されている。

このように、企業が持つコンテンツ資産のワンソースマルチユースを可能にするのがContent Serverの特徴だ。

もちろん、ウェブのコンテンツ管理については他のツールに比べても優れたものを持っている。ウェブサイトの構造やコンテンツを管理したり、ブラウザーを使ってページの内容を編集したり、テンプレートを使ってサイトの表示やページの構造を制御したりといった機能は当然のこととして、動的ページの生成にも静的ページの配信にも対応している。

米国ではニューヨークタイムズやビジネスウィークなどのメディア企業が採用し、日本でも日経新聞がXMLを利用したニュース編集配信システム用で、マルチメディア素材の管理用に採用している。ウェブサイトに限定しない、エンタープライズ規模のコンテンツ管理を目指す、CMSの次のステップを狙う製品だと言えるだろう。



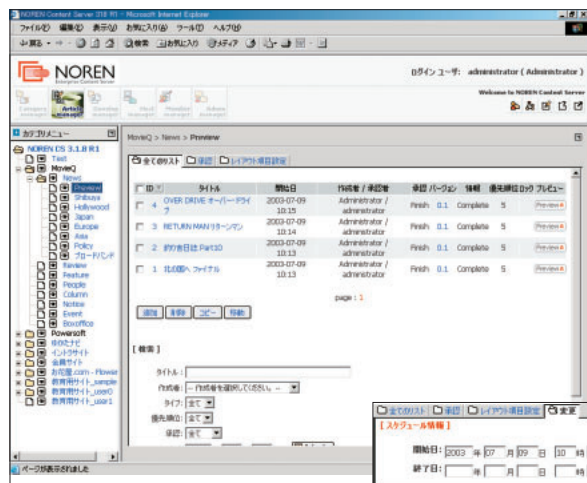
「企業の顔」としてのウェブサイト構築を支援

## NOREN Enterprise Content Server

(ノレン エンタープライズコンテンツサーバー)

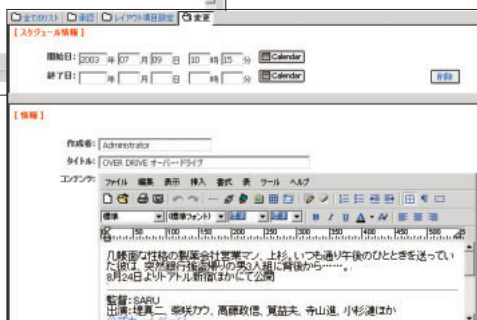
株式会社アシスト

機能や価格などのデータ→77ページ

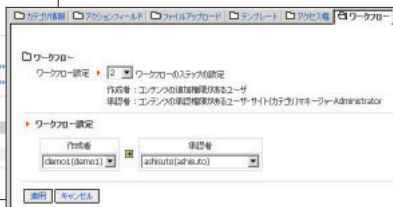


ユーザーインターフェイスは充実しており、ほとんどの操作がグラフィカルな画面で行える。

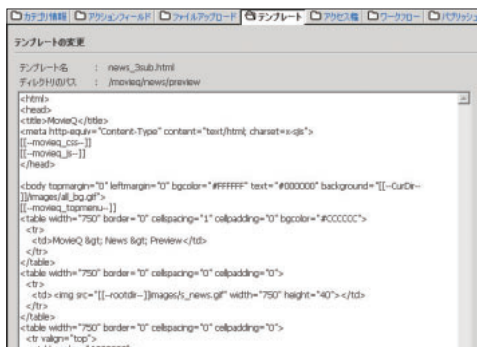
ページの編集ではワープロのような機能を持ったインターフェイスを利用できる。特に表組みをCMSの中でグラフィカルに作れるのは現場の手間を大きく省けるだろう。



各ユーザーのアクセス権や情報を管理できる。ワークフローは複数ステップのものを別途に設定できる。



テンプレート機能は強力で、タグを組み合わせて自由なページを構成できるほか、表示要素やプログラムのコンポーネントをあらかじめ作っておいて再利用できる。



NORENの特徴は、コンテンツ提供者にとって、非常にユーザーフレンドリーに作られている点だろう。これは、製品を市場展開する前に行った緻密なマーケットリサーチの功績と言えるだろう。また、韓国で業界一位のCMSという経験値から培われたノウハウも正直に製品の完成度の高さに反映されているようだ。

CMS自体のインターフェイスもそうだが、サイトを開発して運用していく機能面でも非常に充実している。日々の運用を行うコンテンツ制作者に優しい、コンテンツを登録する際に、コンテンツ登録フォーム内で、ワープロ感覚でテキストの色付けや表組みができる点は他のCMS製品と比べてもよくできている。また、ページレベルでのコンポーネントによってテンプレート化ができ、サイト全体での統一感や、レイアウトの再利用が簡単にできる点も特筆に値する。サイトの運用時に新規コンテンツを登録する場合などのメタデータ(コンテンツに関する情報)の変更や追加は通常かなりのシステムレベルでの変更を伴うが、NORENではコンテンツの構造定義を簡単に変更できるようになっており、開発側にとっても非常に管理が楽と言えるだろう。

NORENのシステム自体を運用する管理者にとっては、ユーザーごとにCMS内でアクセスできるコンテンツや機能に制限をかけられるユーザー管理機能も非常にうれしい機能だろう。また、国際的なウェブ戦略を行っているユーザーにとっては、CMSの管理画面の表示言語を中国語・韓国語・日本語・英語とユーザーごとに設定でき、同一サイト内でのグローバルなコンテンツが提供できるようになっている点も興味深いのではないだろうか。

NORENは、今回取り上げた製品の中でも、ライセンスは高めに設定されている。ただし、前述のように、製品全体を通しての完成度は非常に高く、開発、運営の総コストを試算すれば、十分にコストメリットを見出せる製品だと言えるだろう。



フルXML設計とスケーラビリティによる柔軟な運用

# PortalManager

(ポータル マネジャー)

ECジャパン株式会社

機能や価格などのデータ→77ページ



XMLで構造化されたテンプレートによって、コンテンツの入力時に文字量などの制限を適用できる。コンテンツは自動取り込みツールを使って取り込める。

ページを生成する際には、ブロック単位でモジュール化されたXSLTスタイルシートのテンプレートが適用される。もちろん時限公開や承認のワークフローも利用できる。

コンテンツはシステム内ではXMLで管理され、XSLTスタイルシートのテンプレートによって静的なHTMLファイルが生成される。



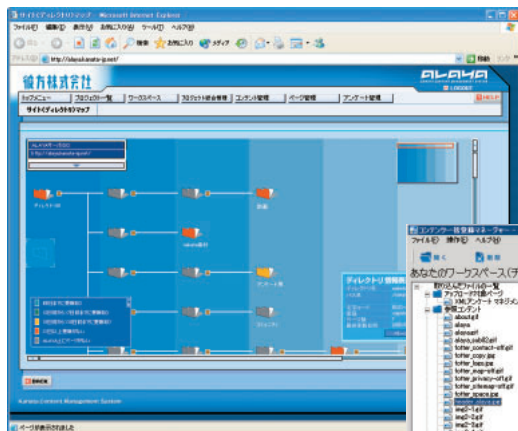
ウェブ制作・運用の現場で生まれ、現場で鍛えられたCMS

# ALAYA

(アラヤ)

彼方株式会社

機能や価格などのデータ→79ページ



管理画面のサイトマップはFLASHを使って作られている。これは、対象サイト内でのディレクトリーの状況を管理者が直観的に認識できるようにとの配慮からだ。



ASPサービスでは、コンテンツ登録時にサーバーにファイルをアップロードする際に、ウイルスチェックをしてくれる。画面はJava/EJBによるクライアントソフト「コンテンツ一括登録マネージャー」。

元MSNのスタッフの大規模サイトの運用経験が反映されているこの製品は、90パーセントのサイトでは毎回動的にページを生成する必要はないとして「静的ページの事前生成」方式を採用している。これにより、多大なシステム投資を行わなくとも、スケーラビリティの高いコンテンツ管理が行える。メモリーDBを利用すれば動的なコンテンツも高速に処理できるようになり、さらにパフォーマンス向上が可能だ。また特筆すべき点として、システム内でXMLの技術を使うことによって、各種のコンテンツを扱い、携帯電話などの配信方式にも対応しやすくなっていることが挙げられる。XML技術と静的ファイル生成の仕組みに加えて、検索エンジン最適化(SEO)でも知られる同社のノウハウが取り込まれていることから、大量の商品情報を扱うB2C系ECサイトのコンテンツ管理などに力を発揮するだろう。

以前はASPサービスのみだったが、現在はインストールタイプの販売も始まっており、数千ページ級の大規模サイトへの導入実績もある。興味深いのは複数のページを1つのプロジェクトとして管理して、制作から発行まで一括で行える点だ。これは、キャンペーンなど複数のページから成る、期間が限定されているコンテンツの管理に非常に便利な機能だ。JavaやXMLなどの最新技術を取り入れて精力的にバージョンアップを重ねるALAYAだが、コンテンツを登録する際に利用できるWYSIWYGエディタ的な機能が2004年に追加される予定で、これによってさらにコンテンツ制作者としての特殊なスキルを必要としないコンテンツ管理とレイアウト管理が行えるようになる。プログラミング不要でアンケートを作成～回収できるオプション(単独での導入またはASP利用も可)も含めて、ウェブサイトの戦略的活用役に役立つだろう。

IEの機能を活かした高機能なモジュール群を低価格ASPで

# dynamic WEB

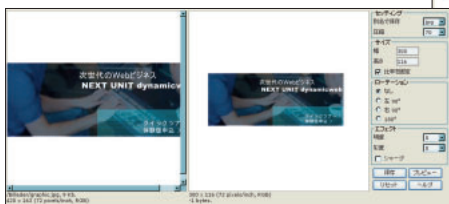
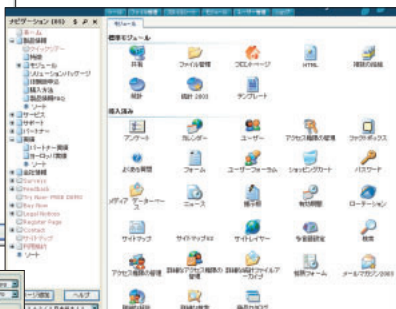
(ダイナミックウェブ)

有限会社ネクストユニット

機能や価格などのデータ→79ページ



グラフィカルな画面でコンテンツを入力・編集できるため、操作に慣れるのにさほど時間はかからないだろう(左図)。モジュールはさまざまなものがあり(下図)、日本独自の不動産サイト用や会計事務所用モジュールも開発中だ。



CMSの中で基本的な画像処理もできる。

トレーニングを合わせても70万～80万円導入でき、150Mバイトまで利用できるホスティング込みで月額2万5,000円のASPサービスは、小～中規模の企業やレストランなどの個人事業者には魅力だろう。しかも中身は高機能な本格派CMSだ。クライアントソフトとしてIEしか利用できないことを欠点と見る人もいるかもしれないが、IEの独自機能を最大限に利用したdynamic WEBのインターフェイスは、デスクトップアプリケーションと見間違えるほど高機能で、ウェブアプリケーションにありがちな制限がほとんどない。CMSとしての基本機能に加えて、アンケート、ニュース、FAQ、商品カタログ、サイトマップ、検索などの機能が30種類以上のモジュールで実現されており、使いたい機能だけを選べる。これまで決して安くなかったCMSの世界に低価格の波をもたらし可能性に期待したい。

外部スタッフを活用するサイト運用に適したASPサービス

# WebManage

(ウェブマネージ)

サイバー・ゼロ株式会社

機能や価格などのデータ→79ページ



管理画面や編集画面はまだこなれていないため、知識のあるパワーユーザー向けとも言える。ページで使う画像を選ぶ際には、リポトリに登録された画像をサムネールで表示して選べる。

| サイト名                               | 管理種        | 状態 | ファイル名/URL           | 最終更新日      | 管理メニュー |
|------------------------------------|------------|----|---------------------|------------|--------|
| 株式会社アスコット ascott web site          | CGI/HTML管理 | 正常 | page00000001_000001 | 2003-11-19 | 更新/削除  |
| トビックス 株式会社アスコット ascott web site    | CGI/HTML管理 | 正常 | page00000001_000001 | 2003-11-19 | 更新/削除  |
| 佐藤建設株式会社 株式会社アスコット ascott web site | CGI/HTML管理 | 正常 | page00000001_000001 | 2003-11-19 | 更新/削除  |
| 株式会社アスコット ascott web site          | CGI/HTML管理 | 正常 | page00000001_000001 | 2003-11-19 | 更新/削除  |
| 株式会社アスコット ascott web site          | CGI/HTML管理 | 正常 | page00000001_000001 | 2003-11-19 | 更新/削除  |
| 株式会社アスコット ascott web site          | CGI/HTML管理 | 正常 | page00000001_000001 | 2003-11-19 | 更新/削除  |
| 株式会社アスコット ascott web site          | CGI/HTML管理 | 正常 | page00000001_000001 | 2003-11-19 | 更新/削除  |
| 株式会社アスコット ascott web site          | CGI/HTML管理 | 正常 | page00000001_000001 | 2003-11-19 | 更新/削除  |
| 株式会社アスコット ascott web site          | CGI/HTML管理 | 正常 | page00000001_000001 | 2003-11-19 | 更新/削除  |
| 株式会社アスコット ascott web site          | CGI/HTML管理 | 正常 | page00000001_000001 | 2003-11-19 | 更新/削除  |

公開承認や転送予約などのワークフロー機能も備えている。

ウェブサイトの制作を外注しているが外部スタッフには社内ネットワークにアクセスさせられないということは多くあるだろう。メールでのファイルのやりとりは煩雑だが、やりとりのためにデータセンターのコストはかけられない。その解の1つとしてASPサービスを考えるのもいいだろう。WebManageは静的なHTMLファイルを出してウェブサーバーに配信するタイプのASPサービスで、複数サイトに対応している。アンケート、検索、ショッピングカートなどのオプションを同じASPサービスとして利用できるのも魅力だろう。フォルダー単位でウェブサイトには出力しない設定にもできるため、画像ファイルや参考データを保管する場所を作り、階層化して管理すれば、サイト制作の元データや制作中のデータの管理にも使える。ASPのメリットを活かす使い方で活用してほしい。

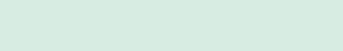
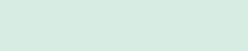
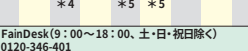
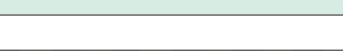
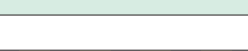
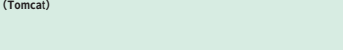
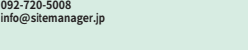
## エンタープライズコンテンツ管理システム

\*1 全文・プロパティ検索 \*2 SAP、Seibelなど



## 大規模サイト対応コンテンツ管理システム

| ツール名、提供元、URL                                                                                                                                                                                                                                                                                | 価格/ライセンス                                                                                            | オプション機能/価格帯                                                                                                                                       | 管理・運用者向けの機能               |   |   |      |      |      |         |         |           |           |           |           |           | ウェブサイトで実現する機能 |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|---|---|------|------|------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                     |                                                                                                                                                   | ワークフロー管理                  |   |   | 公開承認 | 権限付与 | 権限管理 | 静的ページ管理 | 動的ページ管理 | リンク切れチェック | サードパーティ連携 | コンテンツの再利用 | コンテンツの再利用 | コンテンツの再利用 | ログ解析          | SEO対策 | SEO対策 | SEO対策 | SEO対策 | SEO対策 | SEO対策 | SEO対策 | SEO対策 | SEO対策 |
| コメント                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 典型導入価格例                                                                                             | 典型導入パターン                                                                                                                                          | 対応OS / 対応RDBMS / 対応ミドルウェア |   |   |      |      |      |         |         |           |           |           |           |           | 問い合わせ         |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
| DBPS<br>(データベースパブリッシングシステム)<br>パナソニックデジタルネットワークサービス株式会社<br>http://dbps.pdn.co.jp/<br>技術スキルがなくても使いやすいユーザーインターフェイスが特徴。サイトに要する映像されるタイミングごとに将来のサイトの状態を確認できるタイムスライスプレビューなど、運用時の使いやすさを重視している。<br>*1出力のみ *2 オプションで対応                                                                               | 200万円～(要問い合わせ、初回保守半年間、導入、トレーニング含む)<br>380万円(初回保守半年間、導入、トレーニング含む)                                    | 静的ページ配信、全文検索、メディアアセット管理、LDAP対応、動画コンテンツ対応、携帯電話端末対応、メールマガジン機能、電子掲示板機能、イベント予約機能、その他個別カスタマイズ(13万円～125万円)<br>基本システム+静的ページ配信オプション+全文検索オプション             | ○                         | ○ | ○ | ○    | ○    | ○    | ○       | ○       | ○         | ○         | ○         | ○         | ○         | △             | △     | △     | △     | △     | △     | △     | △     | △     | △     |
| Interwoven TeamSite<br>(インターネットチームサイト)<br>インターネット・ジャパン株式会社<br>http://www.interwoven.co.jp/<br>社内に点在する膨大なコンテンツを管理。各ユーザーにテスト環境とコンテンツ作成環境を提供し、一般の社員が簡単にコンテンツの修正や更新作業に参加できる。既存のコンテンツはTeamSiteに載せるだけでバージョン管理が可能。<br>*1 LDAP連携 *2 メタデータ検索                                                         | サーバーライセンス+クライアントライセンス1,800万円(2CPU、要問い合わせ)<br>要問い合わせ                                                 | MediaBin(デジタルアセットマネジメント)1,300万円<br>企業の本社サイト(インターネット、イントラネット、エクストラネット)のコンテンツの管理、ブランド管理やポータル併用による知識管理など(典型例: サイト数5000ページ以上、ユーザー数10～500人以上、必要サーバー数1) | ○                         | ○ | ○ | ○    | ○    | ○    | ○       | ○       | ○         | ○         | ○         | ○         | ○         | ○             | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     |
| InStranet<br>(インストラネット)<br>InStranet Inc./ 販売: 株式会社インフォマテックス<br>http://instranet.informatix.co.jp/<br>マトリックス構造により多次元でコンテンツと人を管理して、大量のコンテンツを整理し、多数の情報発信者の管理やアクセス制御が可能。情報発信、ワークフロー、パーソナライズ、双方向コミュニケーションなども実現し、ポータルや知識管理、コールセンターなどでも利用できる。<br>*1 運用による *2 コンテンツはリンクではなく多次元で体系的に管理 *3 カスタマイズによる | 400万円～(要問い合わせ)<br>—                                                                                 | 大規模ウェブサイトの他、顧客、代理店、グループ企業など社内外との情報交換サイト                                                                                                           | ○                         | ○ | ○ | △    | △    | △    | △       | △       | △         | △         | △         | △         | △         | △             | △     | △     | △     | △     | △     | △     | △     | △     | △     |
| PortalManager<br>(ポータルマネージャー)<br>ECジャパン株式会社<br>http://www.ecjapan.jp/<br>静的ページ生成により、サーバー負荷が低く表示速度の速い大規模サイトを実現。Excelなどもデータ入力に使える。携帯電話やPDAなどもモバイルで対応。検索エンジン最適化されたページの自動生成やキーワード広告にも対応し、マーケティングの効果測定もオプションで可能。<br>*1プレビューで可能 *2 静的ページ発行システムのため、一般的なソフトウェアの利用が可能 *3 テンプレートにより実現 *4 サンプルの提供が可能   | 350万円から(要問い合わせ)。サイト単位のライセンスとなり、サーバー数やCPU数にはよらない<br>2,500万円(ライセンス、OSやDBのライセンス、SI、ハードウェア込みの一例。要問い合わせ) | コンテンツのOEM機能(100万円)、PDA・携帯3キャリア対応モジュール(400万円)<br>中規模からポータルを含む大規模まで、高負荷耐久型SEO対応ECサーバーシステム                                                           | ○                         | ○ | ○ | ○    | ○    | ○    | ○       | ○       | ○         | ○         | ○         | ○         | ○         | ○             | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     |
| NOREN Enterprise Content Server<br>(ノレンエンタープライズコンテンツサーバー)<br>株式会社アシスト<br>http://www.ashisuto.co.jp/prod/noren/<br>企業のウェブブランディングを支援する。シンプルでも機能にインナーフェイスとHTMLベースのテンプレートで使いやすいサイト制作運営基盤を提供。柔軟で自由度の高いテンプレートは大規模サイトのグループ展開やブランド統一にも効果を発揮する。                                                      | 1,500万円～<br>1,800万円(ライセンスおよびメンテナンスサポート費用)                                                           | Dreamweaver Extension Program set (Macromedia Dreamweaverとの連携ツール、無償)<br>グループ企業やチェーン店舗サイトへの展開、ウェブサイトのブランド統一など中規模からエンタープライズまで                       | ○                         | ○ | ○ | ○    | ○    | ○    | ○       | ○       | ○         | ○         | ○         | ○         | ○         | ○             | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     |
| WebコアEnterprise<br>(ウェブコアエンタープライズ)<br>株式会社上道ソリューションズラボラトリー<br>http://www.ssl.fujitsu.com/products/wcms/vece.html<br>小規模なサイトから大規模なサイトまで対応できる各種バージョンを揃えたウェブサイトを統合管理ツール。ASPサービスを利用すれば外部のスタッフとスムーズに連携しサイトを運用できる。                                                                                | 「プロセッサライセンス」(1,500万円～)またはユーザー数・配信先ウェブサーバー数による「エントリライズ」(480万円～)<br>1,000万円～                          | 高信頼性配信オプション(50万円～)、Dreamweaver連携オプション(80万円～)、一括登録オプション(80万円～)<br>グループ会社/各部署ごとなどでCMSを共有したサイト運営                                                     | ○                         | ○ | ○ | ○    | ○    | ○    | ○       | ○       | ○         | ○         | ○         | ○         | ○         | ○             | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     |
| 4Less Internet<br>(フォーレスインターネット)<br>株式会社ネットドリーマーズ<br>http://www.netdreamers.co.jp/product/4less/<br>アンケート、ターゲットメール配信やカスタマーサポートなどのCRM機能や、携帯電話向け配信の機能を持った大規模統合ウェブサイトを管理システム。現在あるサイトを活かし段階導入がしやすい点も特徴。<br>*1 デイレクトリー構造を管理                                                                      | 120万円～(要問い合わせ)<br>320万円～1,000万円(テンプレートカスタマイズ数による。サーバー数、ページ数は特に費用に関係なし)                              | Support Manager(カスタマーサポート)330万円、Campaign Manager(アンケート+ターゲットメール)270万円など<br>File Manager+Contents Manager+テンプレートカスタマイズ                             | ○                         | ○ | ○ | ○    | ○    | ○    | ○       | ○       | ○         | ○         | ○         | ○         | ○         | ○             | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     |
| Create! Site Management Server<br>(クリエイティブ!サイトマネジメントサーバー)<br>インフォテック株式会社<br>http://www.iftc.co.jp/product/sms/<br>基本機能を備えながら、導入のしやすさを追求した純国産CMS(2004年4月リリース予定)。多プラットフォーム対応。100% Java採用によるオープンな開発環境、豊富なオプション、リーズナブルな価格でウェブサイトを構築→運用・管理まで強力に支援。                                               | 78万円～170万円、サーバー単位<br>150万円～                                                                         | マルチサイト管理、レプリケーション管理、バージョン管理、スケーリング管理(価格未定)<br>小規模～大規模ウェブサイトを構築                                                                                    | ○                         | ○ | ○ | ○    | ○    | ○    | ○       | ○       | ○         | ○         | ○         | ○         | ○         | ○             | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     |
| CAPS<br>(キャプス)<br>スリーインボー株式会社<br>http://caps.brainbow.jp/<br>サイト編集者とユーザーをつなぎ、技術スキルがなくてもウェブコンテンツを作成・更新・発行してデータ管理が可能にする。HTMLタグに触れずにブラウザで編集・発行・管理が可能。専属技術者を必要とせず、人件費を抑えられる。<br>*1 権限設定あり、それ以外なし *2 毎日何時に公開(日時の指定ができない)見られなくするという機能はない。HTMLを書き出すので上書きで更新する。                                     | 180万円～280万円、サーバーライセンス(ソースコードライセンス込み)<br>ハードウェア・ソフトウェア・セットアップ・トレーニング2日で350万円～                        | カスタマイズ50万円～<br>新規ウェブサイト構築時の導入                                                                                                                     | ○                         | △ | △ | △    | △    | △    | △       | △       | △         | △         | △         | △         | △         | △             | △     | △     | △     | △     | △     | △     | △     | △     | △     |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                       |                                                                                                                    | 管理・運用者向けの機能                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ウェブサイトで実現する機能                                                                                                                                              |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                       |                                                                                                                    | ワークフロー管理<br>公開承認<br>権限付与<br>権限解除<br>同時進行実行<br>世帯整理<br>ログ残差<br>ロール管理<br>構造化検索<br>サイト構築<br>コンテンツ編集<br>リンクの再配置<br>CMSとの連携<br>ユーザー登録利用<br>テンプレート管理<br>ログインパスワード<br>ローカルバックアップ<br>データベース移行<br>XMLデータ処理<br>WYSIWYGエディター<br>クッキー対応<br>サイト内検索<br>利用ユーザ登録<br>多言語システムとの連携<br>静的ファイル生成<br>アクセシビリティ対応<br>モバイル最適化<br>コミュニケーションツール<br>掲示板<br>表示板 |                                                                                                                                                            |
| ツール名、提供元、URL                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 価格/ライセンス                                                                                              | オプション機能/価格等                                                                                                        | 対応OS / 対応RDBMS / 対応ミドルウェア                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 問い合わせ                                                                                                                                                      |
| CF Cafe<br>(シーエフカフェ)<br>株式会社アイ・ティ・フロンティア<br><a href="http://sirius.itfrontier.co.jp/cfcafe/">http://sirius.itfrontier.co.jp/cfcafe/</a><br>中小規模統合ウェブコンテンツ管理システム。                                                                                                                                | Windows/Linux 260万円～、Solaris 350万円～<br><br>2,000万～3,000万円(Si込み)                                       | 有償のWYSIWYGエディター(35万～)、モバイル対応オプションMCAP-CF2(20万)の公開<br><br>ワークフローによる承認後のウェブサイトへの公開                                   | <br>Windows 2000 Server, Red Hat Linux/AS, Solaris / SQLServer 2000, Oracle9i, DB2 7.2 / Cold Fusion MX 6.1                                                                                                                                      | xWeb事業本部 営業部 津熊 弘和、03-6221-5200、cfcafe@itfrontier.co.jp                                                                                                    |
| *1 次にバージョンで対応予定 *2 別途有償のWYSIWYGエディターも組み込み可 *3 カスタマイズにて可能 *4 次にバージョンで対応予定 *5 別途モバイル変換ソフトMCAP-CF2との組み合わせにより対応可能                                                                                                                                                                                   |                                                                                                       |                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                            |
| ジャボロサイトメーカー<br>有限会社ジャボロ<br><a href="http://www.sitemaker.jp/">http://www.sitemaker.jp/</a><br>小中規模向けウェブベースCMS。管理はウェブブラウザ上で行い、管理者はワーク入力程度の簡単な入力作業で本格的なウェブサイトを構築・管理できる。                                                                                                                           | 180万円～(1サーバー、管理用アカウント無制限)要問合せ<br><br>500万円(企画、デザイン、初期コンテンツ入力、オプション含む)                                 | 会員管理、アンケート作成、メールマガジン管理、施設予約、イベントカレンダー(30万円～140万円)<br><br>中規模サイト：1500ページ、管理ユーザー10人、サーバー1台                           | <br>Linux, FreeBSD / PostgreSQL / Perl                                                                                                                                                                                                           | <br>0859-68-3032 info@japro.com                                         |
| I-SITE Portal<br>(アイサイトポータル)<br>ソノゾ株式会社<br><a href="http://www.sonzo.co.jp/i-site/">http://www.sonzo.co.jp/i-site/</a><br>ブラウザだけでサイト運用・ページ作成。機能はモジュール化され、自由に配置して活用が可能。テンプレート簡易作成やWYSIWYGエディターを標準装備、オフィス文書や既存HTMLもコピー＆ペーストで簡単に登録でき、オフィス文書の全文検索も標準サポート。                                           | 基本システム180万円～(1サーバー、1サイト)<br><br>300万円                                                                 | メールによる文書管理公開システム(50万円～)、自治体情報システム(200万円)、施設予約システム(200万円)、生涯学習システム(200万円)、各モジュールのサイズ(10万円)など<br><br>住民向け情報サービス(中規模) | <br>Windows 2000 Server, Windows 2003 Server / MSDE, SQL Server 2000 / .NET Framework 1.1 および ASP.NET                                                                                                                                            | <br>鈴木、榎村 0857-27-9658 info@sonzo.co.jp                                 |
| *1 バックアップ *2 全文検索用に静かなHTMLを出力                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                       |                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                            |
| WEB STYLE SITE1<br>(ウェブスタイルサイトワン)<br>マーズ株式会社<br><a href="http://site1.mars.co.jp/">http://site1.mars.co.jp/</a><br>小規模ウェブサイト統合管理ツール。                                                                                                                                                            | 19万8,000円(ライト版5万8,000円)<br><br>19万8,000円(ライト版5万8,000円)                                                | —<br><br>キャンペーンサイト                                                                                                 | <br>Windows, Solaris, Linux, FreeBSD / MySQL(内蔵)                                                                                                                                                                                                 | <br>WEBSTYLE部 03-5485-7550 webstyle@mars.co.jp                          |
| PortalProducer<br>(ポータルプロデューサー)<br>株式会社日立情報システムズ<br><a href="http://www.hitachijoho.com/solution/portalpro.htm">http://www.hitachijoho.com/solution/portalpro.htm</a><br>これまでのウェブサイト運営プロセスを劇的に変革するウェブコンテンツ管理フレームワーク。                                                                            | 200万円(サーバー・2CPUまで)<br><br>新設ウェブサイト開設費用(ハードウェア、運用関連サービスを除く)の場合<br>小規模：500万円～、中規模1,000万円～、大規模3,000万円～   | 高機能ウェブエディターオプション(Namo ActiveSquare 5)：<br>35万円(50CAL)～<br><br>会員サービス、B2B顧客、自治体行政情報提供などのコミュニケーションウェブサイト             | <br>Windows 2000 Server, Red Hat Linux, Solaris(要相談) / SQL Server 2000, Oracle 9i, DB2 7.2, MySQL / ColdFusion MX 6.1                                                                                                                            | <br>FainDesk(9:00～18:00、土・日・祝日除く) 0120-346-401 faindesk@hitachijoho.com |
| *1 別選オプション *2 オプションで高機能ウェブエディターの選択可 *3 別選オプション *4 連携方式により別途相談 *5 別選オプション                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                       |                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                            |
| CSEwebビルダー<br>(シーエスウェブビルダー)<br>テクノブランド株式会社<br><a href="http://www.tbi.jp/tbi/csweb.html">http://www.tbi.jp/tbi/csweb.html</a><br>ウェブフォーム(入力、提示板など)を作成し、コミュニケーション・アンケート・情報収集・伝達・共有システム、HTMLの知識がなくても操作運用でき、メール配信との連動、グループ、権限、管理者、公開期間などの自動管理機能を持つ。                                                | 7万8,000円(1管理ユーザー)～または、1万円／月額のASP<br><br>7万8,000円(1管理ユーザー)～                                            | 携帯電話対応(50万～100万円、対応通信キャリアによる)、特注対応カスタマイズ(100万円～)<br><br>会員・非会員向け「アンケート集計管理」や「各種申込み受付管理」                            | <br>Linux / PostgreSQL / Perl                                                                                                                                                                                                                  | <br>営業部 03-5304-1877 info@t-brand.com                                 |
| SiteManager<br>(サイトマネージャー)<br>サイトマネージ株式会社<br><a href="http://www.sitemanager.jp/">http://www.sitemanager.jp/</a><br>サイト運営を分業化したスムーズかつ集中型の情報発信が可能。ブログから入力した文章がそのままウェブに掲載でき、掲載申請ワークフローもある。掲載期間も設定できるほか、文字列検索・画像貼り付け・各種ファイル添付などにも対応。                                                               | 180万円～(CPU単位)<br><br>180万円～(要相談)                                                                      | 問い合わせフォーム作成・FAQ公開・回答承認型管理機能、アンケートフォーム作成・集計管理機能(ターゲット対応)<br><br>情報系複合ホームページ、イントラネット社内情報共有システム                       | <br>Linux / Oracle 9i, PostgreSQL / J2EE アプリケーションサーバ(Tomcat)                                                                                                                                                                                   | <br>カスタマーサービス(若永・森田) 092-720-5008 info@sitemanager.jp                 |
| *1 オプション *2 静的ファイル領域あり                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                       |                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                            |
| WebRelease 2<br>(ウェブリリース2)<br>株式会社フレームワークスソフトウェア<br><a href="http://www.frameworks.co.jp/">http://www.frameworks.co.jp/</a><br>プログラミング不要のパッケージソフト。HTMLの知識さえあれば誰でもテンプレートが作れ、専門知識があってもページの更新や公開が可能。静的HTML生成により公開サーバー上に追加ソフトは不要でSEOにも適す。RDBMS不要で、リースナブルな価格でサイト運営が可能。                               | 49万8,000円(500ページ制限)、299万8,000円(ページ数無制限)サーバー単位<br><br>小規模：100万円～、中規模：500万円～(ハードウェア、サイト企画、テンプレートデザイン含む) | なし<br><br>エンジニアのリソースがない(もしくは不足している)状況でサイトを構築して適用したいといったケース                                                         | <br>Mac OS X Server, Solaris, Linux / RDBMS不要 / Apple WebObjects 5.2                                                                                                                                                                           | <br>03-3547-3676 info@frameworks.co.jp                                |
| D-WebManager Professional<br>(ディーウェブマネージャープロフェッショナル)<br>ES東芝エン지니어リング株式会社<br><a href="http://www.e-yorozo.com/jsp/D_web_pro/d_web_pro.htm">http://www.e-yorozo.com/jsp/D_web_pro/d_web_pro.htm</a><br>簡単な操作で誰でもサイト運営に参加できるコンテンツ管理ツール。HTMLを知らなくてもワークシート感覚でコンテンツを作成できる。管理・承認機能により作業負担を一括集中させ分担できる。 | 200万円～(30ユーザーライセンス～)<br><br>最多価格帯は350万円～                                                              | 掲示板・電子会議機能(50万円～)、アンケート、申し込みフォーム作成機能(15万円～)、携帯対応機能(1キャリア50万円～)<br><br>自治体公式リアルタイム管理運営ツール                           | <br>Windows 2000、Linux (Red Hat) / SQL Server 2000、PostgreSQL / PHP                                                                                                                                                                            | <br>info@mdc.toshiba-eng.co.jp                                        |
| *1 作成したレイアウトを新たなテンプレートとして登録できる *2 オプションにて搭載可。30万円～ *3 オプションにて搭載可。15万円～                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                       |                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                            |
| i-Fontis<br>(アイフォンディス)<br>株式会社タツプロジェクト<br><a href="http://fontis.tpj.co.jp/">http://fontis.tpj.co.jp/</a><br>ウェブベースでサイトの運用・管理が行えるシステム。パーソナライズされた画面も自動生成でき容易な操作でサイト構築が可能。                                                                                                                        | 定価60万～<br><br>小規模150万円～、中規模300万円～(ハード含まず)                                                             | アンケート(30万円)、ショッピングフォーム(60万円)、掲示板(30万円)<br><br>企業・大学ウェブサイトなど                                                        | <br>Windows 2000 Server / RDBMS内蔵 / Perl                                                                                                                                                                                                       | <br>パッケージビジネスグループ 松原・丸野 0852-32-1141 i-fontis@tpj.co.jp               |
| *1 ページ単位であれば事前作成、確認が可能 *2 カスタマイズ *3 テンプレートをあらかじめ登録しておく *4 カスタマイズ *5 オプション                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                       |                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                            |

## ASPサービスでも利用できるコンテンツ管理システム

| ツール名、提供元、URL                                                                                                                                                                                                    | 価格/ライセンス                                                                                                                                                                                              | オプション機能/価格帯                                                                                                                                  | 管理・運用者向けの機能                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                            |           |      |           |           |           |       |                  |         |        |            | ウェブサイトで実現する機能 |                                                       |         |           |      |           |   |   |   |  |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|------|-----------|-----------|-----------|-------|------------------|---------|--------|------------|---------------|-------------------------------------------------------|---------|-----------|------|-----------|---|---|---|--|--|
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                              | ワークフロー管理                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                            |           | 構築支援 | リンク切れチェック | コンテンツの再利用 | 別システムとの連携 | ログの解析 | XML/JSONデータの取り込み | 利用ユーザ登録 | サイト内検索 | 集客システムとの連携 | 静的コンテンツ対応     | アクセシビリティ対策対応                                          | 新機能/拡張性 | コミュニケーション |      |           |   |   |   |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                              | 公開承認                                                                                                                                                                                  | 操作ログの取得                                                                                                                                    | 時間指定で一括更新 |      |           |           |           |       |                  |         |        |            |               |                                                       |         |           | 世代管理 | スクリプトのロード |   |   |   |  |  |
| コメント                                                                                                                                                                                                            | 典型導入価格例                                                                                                                                                                                               | 典型導入パターン                                                                                                                                     | 対応OS／対応RDBMS／対応ミドルウェア                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                            |           |      |           |           |           |       |                  |         |        |            | 問い合わせ         |                                                       |         |           |      |           |   |   |   |  |  |
| 大規模サイト対応                                                                                                                                                                                                        | ALAYA<br>(アラヤ)<br>彼方株式会社<br>http://www.kanata-jp.com/alaya/<br>Javaを導入し、豊富なサイト運営経験を活かした「ニッポン発」CMS。サイトの運営負担軽減と戦略的活用を実現し、数100名の運用による行政サイト、企業サイト、スポーツ選手のHPなど、幅広い分野で利用可能。導入負担の軽いASPと自社導入でできるインストールタイプがある。 | プライマリエディション350万円～、<br>エンタープライズエディション<br>800万円～、ASPは月額20万円～<br>(要問い合わせ)<br>部分導入(150万円)から大規模<br>サイトの適用(1,000万円以上)<br>まで、ASPでの提供も可能<br>(要問い合わせ) | XMLアンケートマネジメントシステム<br>(90万円～、要問い合わせ)、<br>EJBエクステンションコンテンツ一括登録<br>マネージャ(30万円～)<br>ウェブサイト主要部門を中心に、各部署から<br>の情報発信を行う運営スタイル(作業・<br>更新履歴なども管理)。<br>部分導入(1ユーザー)から1000ユーザー<br>以上の大規模サイトまで対応。 | ○                                                                                                                                          | ○         | ○    | ○         | ○         | ○         | ○     | △                | ○       | ○      | ○          | ○             | △                                                     | ○       | ○         | ○    | ○         | ○ | ○ | △ |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                 | *1 ウェブサービス、LDAPなどに対応                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                       | Linux、Windows 2000 Server (Solaris その他他相談)／<br>Oracle9i (その他他相談)／<br>WebLogic Server/Interstage Application Server (その他他相談)／<br>またはASPサービス |           |      |           |           |           |       |                  |         |        |            |               | 03-5728-6090<br>info@kanata-jp.com                    |         |           |      |           |   |   |   |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                            |           |      |           |           |           |       |                  |         |        |            |               |                                                       |         |           |      |           |   |   |   |  |  |
| 中小規模サイト対応                                                                                                                                                                                                       | dynamic Web<br>(ダイナミックウェブ)<br>ネクストユニット<br>http://www.nextunit.jp/<br>デンマーク、ダイナミックシステム社開発。<br>本国ですすでに1000社を超える導入実績<br>があり、ASP型サービスにより低コストで<br>導入可能で、規模により最適な機能を選べる。<br>数多くのオプションモジュールで将来の<br>機能拡張が容易。  | ライト版30万円～／導入ライセンス<br>費(要問い合わせ)<br>70万円～／導入ライセンス・構築費<br>(要問い合わせ)                                                                              | ビジネス版100万円～(導入ライセンス・<br>構築費(要問い合わせ)、エンタープライズ<br>版200万円～／導入ライセンス・構築費<br>(要問い合わせ)<br>30～50ページの静的HTMLページの企業<br>ウェブサイトコンテンツのダイナミックウェブ<br>移行                                               | △                                                                                                                                          | ○         | ○    | ○         | △         | ○         | ○     | ○                | ○       | ○      | ○          | ○             | ○                                                     | ○       | ○         | ○    | ○         | ○ | ○ | ○ |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                 | *1 要件によりオプション設定可能 *2 ビジネス版以上で利用可能 *3 計画中 *4 モジュールで対応                                                                                                                                                  |                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                       | ASPサービス                                                                                                                                    |           |      |           |           |           |       |                  |         |        |            |               | 03-5396-4844<br>info@next-unit.com                    |         |           |      |           |   |   |   |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                            |           |      |           |           |           |       |                  |         |        |            |               |                                                       |         |           |      |           |   |   |   |  |  |
| WebManage<br>(ウェブマネージ)<br>サイバー・ゼロ株式会社<br>http://www.webmanage.jp/<br>HTMLの専門知識がなくても、ブラウザから<br>の操作でページを作れる。リンクやメニュー<br>の自動更新、コンテンツ追加・更新の申請承認<br>ワークフロー、ページのコピー・カット<br>・ペースト・複製、サイトマップ自動生成、<br>CSVからの表作成などの機能もある。 | ASP(初期10万円、年間60万円～)、<br>ASP+共用レンタルサーバー(初期<br>12万円、年間72万円～)、専用サーバ<br>ー(初期20万円、年間240万円)、<br>ライセンスパッケージ(初年度500万円<br>次年度100万円)                                                                            | アンケートシステム(20万円～)、サイト内<br>検索ASP(1万円/月～)、テンプレート作成<br>(1万円～)、マスターデザイン制作(5万<br>円～)、初期データ登録代行(3,000円/ペー<br>ジ～)、サイト運用サービス(5万円<br>/月～)              | ○                                                                                                                                                                                     | ○                                                                                                                                          | △         | ○    | ○         | ○         | ○         | ○     | ○                | ○       | ○      | ○          | ○             | ○                                                     | ○       | ○         | ○    | ○         | ○ | ○ | ○ |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                 | *1 指定時間アップロード機能は近日標準実装予定 *2 個別対応 *3 オプションで汎用のログ解析ツールおよびカスタムログ解析ツールを提供 *4 オプション *5 オプション *6 オプション *7 オプション(オンラインアンケートシステム)                                                                             |                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                       | ASPサービスまたはLinux／PostgreSQL／Apache、PHP                                                                                                      |           |      |           |           |           |       |                  |         |        |            |               | 井上正直<br>03-3537-6837<br>ccms@cyberzero.co.jp          |         |           |      |           |   |   |   |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                            |           |      |           |           |           |       |                  |         |        |            |               |                                                       |         |           |      |           |   |   |   |  |  |
| クロスメディアプロダクションシステム<br>欧文印刷株式会社<br>http://www.obun.co.jp/kigyoservice/<br>cross_s.html#1<br>ニュースやプレスリリース配信のための機能<br>を装備。データベースよりウェブ、電子メ<br>ールそして紙の各メディアへと展開できる。<br>顧客管理・アクセス解析機能も装備。                             | 初期導入費用350万円～<br>(要問い合わせ)<br>中規模で500万円程度                                                                                                                                                               | 自動組版用プログラム<br>(100万円～要問い合わせ)<br>ニュース・プレスリリース配信                                                                                               | ○                                                                                                                                                                                     | ○                                                                                                                                          | ○         | ○    | ○         | ○         | ○         | ○     | ○                | ○       | ○      | ○          | ○             | ○                                                     | ○       | ○         | ○    | ○         | ○ | ○ | ○ |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                 | *1 対応予定 *2 個別対応 *3 RSS対応予定 *4 個別対応 *5 他社製品との組み合わせで実現 *6 オプションで選択可能                                                                                                                                    |                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                       | ASPサービス                                                                                                                                    |           |      |           |           |           |       |                  |         |        |            |               | デジタルソリューション部<br>03-3817-5947<br>info@obun.co.jp       |         |           |      |           |   |   |   |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                            |           |      |           |           |           |       |                  |         |        |            |               |                                                       |         |           |      |           |   |   |   |  |  |
| AssetNowEX<br>(アセットナウ・エックス)<br>株式会社インフォサイン<br>http://www.assetnow.jp/<br>ページ単位ではなくサイト全体として管理<br>する。シンプルで洗練された機能により、運<br>営側の負担を大きく低減し、使い勝手の<br>良い一貫性のあるサイトを実現する。                                                 | 180万円/インストール(URL)単位<br>(ユーザー数、ページ数、カテゴリ数<br>に制限はない)<br>ライセンス、連携構築、デザイン、購<br>置、サポートなどで400万円～、ASP：<br>基本デザイン含む初期費用25万円/<br>月額利用料金4万9,800円/月                                                             | 申し込みフォーム(複数設定可能)、投票<br>フォーム(複数設定可能)、掲示板など<br>(各30万円～)<br>サイト5000ページ、<br>管理ユーザー1～100人、サーバ1台                                                   | ○                                                                                                                                                                                     | ○                                                                                                                                          | ○         | ○    | ○         | ○         | ○         | ○     | ○                | ○       | ○      | ○          | ○             | ○                                                     | ○       | ○         | ○    | ○         | ○ | ○ | ○ |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                 | *1 対応予定 *2 個別対応 *3 RSS対応予定 *4 個別対応 *5 他社製品との組み合わせで実現 *6 オプションで選択可能                                                                                                                                    |                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                       | ASPサービスまたはWindows 2000/XP、Red Hat Linux／<br>Access 97/2000 MDB、MySQL4.1.x、<br>ColdFusion MX 6.1 日本語スタンダード版                                 |           |      |           |           |           |       |                  |         |        |            |               | マーケティンググループ 菅原<br>03-5802-7531<br>info@infosign.co.jp |         |           |      |           |   |   |   |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                            |           |      |           |           |           |       |                  |         |        |            |               |                                                       |         |           |      |           |   |   |   |  |  |
| ニュースメーカー<br>アイオックス株式会社<br>http://www.newsmaker.jp/<br>SEO対策とコンテンツのシグネチャ<br>配信による集客機能を充実させたCMS。<br>ニュース情報サイトや広報サイト、地域情報<br>サイトの運用に適する。                                                                           | 初期設定費20万円、月額運用費10<br>万円(ホスティング込み)、<br>月額課金方式のASPサービス                                                                                                                                                  | —                                                                                                                                            | ○                                                                                                                                                                                     | ○                                                                                                                                          | ○         | ○    | ○         | ○         | ○         | ○     | ○                | ○       | ○      | ○          | ○             | ○                                                     | ○       | ○         | ○    | ○         | ○ | ○ | ○ |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                 | *1 対応予定 *2 個別対応 *3 RSS対応予定 *4 個別対応 *5 他社製品との組み合わせで実現 *6 オプションで選択可能                                                                                                                                    |                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                       | ASPサービス                                                                                                                                    |           |      |           |           |           |       |                  |         |        |            |               | 03-3568-4385<br>info@ioiox.com                        |         |           |      |           |   |   |   |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                            |           |      |           |           |           |       |                  |         |        |            |               |                                                       |         |           |      |           |   |   |   |  |  |

## CMS製品詳細データについて

## ※情報について

76ページから79ページに掲載したCMS製品のデータは、編集部が独自に調査した内容をまとめたものです。今回の調査では商用のCMS製品のみが対象となっています。

## ※分類について

「エンタープライズコンテンツ管理システム」や「大規模サイト用コンテンツ管理システム」といった分類は、各製品が得意とする分野をおおまかに示すことを目的としていることに注意してください。多くの商品は、ここで分類されている分野以外でも対応可能です。

## ※機能分類について

表内で示した各機能がどのようなものを表すかについては62ページからの解説と65ページの表1を参照してください。「○」はその機能を有することを、「—」はその機能がないことを、「△」は標準では対応していないがモジュールやプラグインなどで対応できることを示します。

## ※最新の情報について

この表に掲載した情報は2003年12月現在のものです。価格、機能、対応プラットフォームなどに関する最新の情報は、各メーカーに直接問い合わせて確認してください。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレス R&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社**インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)